

タテのカギ

- ① (まつかさ) 松かさ。マツは雄花と雌花をつけ、雌花からできる松かさの中に種子をつくる。その後、松かさが開き、うすいはねのついた種子が風に乗って飛ばされる。
- ② (雑食動物) ツキノワグマやヒグマの食生活について調べてみよう。
- ③ (炭酸アンモニウム) 白色の粉末。あとに何も残らない。水酸化ナトリウム水溶液で二酸化炭素を取り除く。アンモニアは上方置換法で集める。
- ④ (タツノオトシゴ) うろこがない。からだは骨板でおおわれている。尾が海藻などに巻きつく。
- ⑥ (塩化ナトリウム) ざらざらする。粒は四角く角張ったものが多い。水に溶ける。加熱しても変化がない。無機物。
- ⑦ (亜鉛) 鉄やマグネシウムなども、うすい塩酸を加えると水素が発生する。
- ⑧ (鍵層) 凝灰岩や火山灰の層、示準化石を含む層が鍵層となる。
- ⑩ (質量) 単位は g, kg を使う。場所によって大きさは変わらない。
- ⑪ (重さ) 単位は N を使う。場所によって大きさが変わる。
- ⑫ (ばねばかり) 力の大きさをはかることができる。N 単位の目盛りをつけたものを、特にニュートンばねばかりという。
- ⑭ (震源) 震央と震源の間の距離を震源の深さという。各観測地点と震源の間の距離を震源距離という。

ヨコのカギ

- ② (火山砕せつ物) 噴き出すマグマがもとになった物をまとめて火山噴出物という。形や大きさ、状態などから、大きく火山砕せつ物、溶岩、火山ガスに分けられる。
- ⑤ (マウナケア) 標高は 4,205m、約 100m 下ったところにマウナケア天文台群があり、日本のすばる望遠鏡もそこにある。マグマのねばりけが弱い。ハワイ島 (ビッグアイランド) の火山は他にマウナロア (4,169 m)、キラウエア (1,247 m)。溶岩台地をつくった。姉と弟の会話 火山 1~5。
- ⑨ (物質) 物体をつくっている素材や材料。
- ⑪ (オオバコ) 高くのびる性質を持たないので、踏みつけが弱い場所では他の草に負けてしまう。
- ⑬ (塩素) 水に溶けやすく、水溶液は酸性。漂白や殺菌に利用される。密度は空気よりも大きい。
- ⑮ (塩化アンモニウム) 塩安。A 水酸化カルシウムと混ぜ合わせて試験管に入れ、試験管の口を少し下げて底を加熱すると、アンモニアが発生して白色の固体が残る。B 混ぜないように水酸化ナトリウムを加え、さらに少量の水を加えると、アンモニアが発生する。
- ⑯ (遠隔力) 重力、磁力、電気の力。近づくほど大きくなる。
- ⑰ (クリオネ) 体は透明な部分が多い。流氷の天使、氷の妖精と呼ばれる。
- ⑱ (サソリ) 体の前にハサミ、後ろに毒針を持つ。
- ⑲ (炭酸水) 弱い酸性。